

P10328408A2: COMPUTER GAME MACHINE

[View Images \(1 pages\)](#) | [View INPADOC only](#)

Country: JP Japan

Kind:

Inventor(s): SUGA HIROSHI

Applicant(s): SONY CORP
[News, Profiles, Stocks and More about this company](#)

Issued/Filed Dates: Dec. 15, 1998 / May 29, 1997

Application Number: JP1997000139758

IPC Class: A63F 9/22:

Abstract: **Problem to be solved:** To provide a computer game machine excellent in portability.
Solution: This game machine 10 is composed of a main body part 11 and a cover part 12. The part 12 is made freely foldable to the part 11 and a color display means 13 is provided on a face opposed to the part 11 of the part 12. Operation keys 14 are provided on a face opposed to the part 12 of the part 11. A battery pack 19 of a charging battery being an operation power source is mounted to the part 11 in the state of being freely attachable and detachable.
COPYRIGHT: (C)1998,JPO

Other Abstract Info: DERABS G99-099471 DERG99-099471

Foreign References: (No patents reference this one)



Nominate this invention for the Gallery...

Alternative Searches



[Patent Number](#)



[Boolean Text](#)



[Advanced Text](#)

Browse



[U.S. Class by title](#)



[U.S. Class by number](#)



[IBM Technical Disclosure Bulletin](#)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-328408

(43) 公開日 平成10年(1998)12月15日

(51) Int.Cl.⁸

A 6 3 F 9/22

識別記号

F I

A 6 3 F 9/22

A

G

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平9-139758

(22) 出願日 平成9年(1997)5月29日

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 菅 弘志

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

ー株式会社内

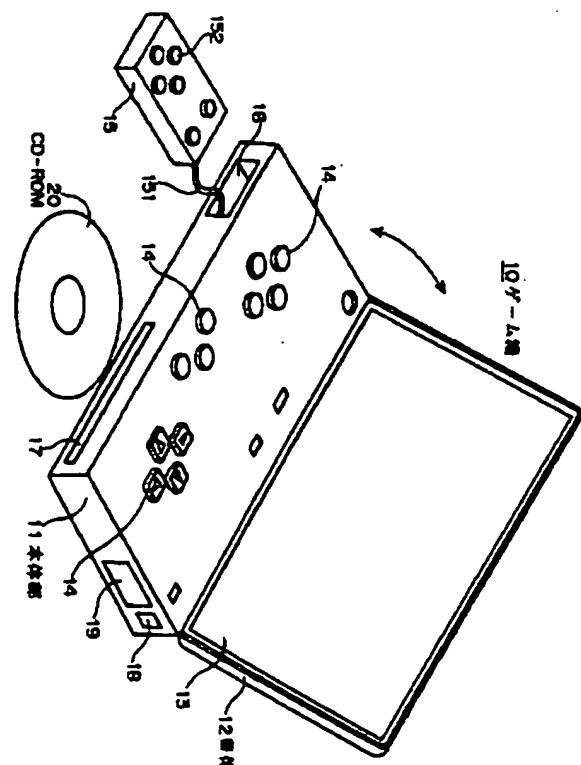
(74) 代理人 弁理士 佐藤 正美

(54) 【発明の名称】 コンピュータゲーム機

(57) 【要約】

【課題】 携帯性に優れたコンピュータゲーム機を提供する。

【解決手段】 本体部11と、蓋部12とから構成される。蓋部12は本体部11に対して折りたたみ自在とされるときにも、蓋部12の本体部11と対向する面に、カラー表示手段13が設けられる。本体部11の蓋部12と対向する面に、操作キー14が設けられる。本体部11には、動作電源となる充電式電池の電池パック19が着脱自在に装着される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 本体部と、

蓋部と

を有し、

上記蓋部は上記本体部に対して折りたたみ自在とされるときともに、

上記蓋部の上記本体部と対向する面に、カラー表示手段が設けられ、

上記本体部の上記蓋部と対向する面に、操作キーが設けられ、

上記本体部には、動作電源となる充電式電池の電池バックが着脱自在に装着されるようにしたコンピュータゲーム機。

【請求項2】 請求項1に記載のコンピュータゲーム機において、

赤外線を送光・受光部を有し、

この送光・受光部を通じて赤外線により他のゲーム機と通信を行うようにしたコンピュータゲーム機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、コンピュータゲーム機に関する。

【0002】

【従来の技術】家庭用のコンピュータゲーム機として、プレイステーション（登録商標）などのゲーム機が知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところが、家庭用のコンピュータゲーム機はゲーム機本体だけでユニットを構成しているので、ゲーム機単体では機能できず、ゲーム時には、テレビ受像機などのディスプレイに接続する必要がある。また、動作電源として商用の交流電源を必要とするので、携帯して使用することができない。

【0004】この発明は、このような問題点を解決しようとするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】このため、この発明においては、本体部と、蓋部とを有し、上記蓋部は上記本体部に対して折りたたみ自在とされるときともに、上記蓋部の上記本体部と対向する面に、カラー表示手段が設けられ、上記本体部の上記蓋部と対向する面に、操作キーが設けられ、上記本体部には、動作電源となる充電式電池の電池バックが着脱自在に装着されるようにしたコンピュータゲーム機とするものである。したがって、ゲーム機は電池でも動作するときともに、単体でゲーム機として動作する。

【0006】

【発明の実施の形態】図1及び図2はこの発明によるコンピュータゲーム機の一形態を示し、図1は蓋部を開いた状態、図2は蓋部を閉じた状態を示す。

【0007】そして、これらの図において、符号10はそのコンピュータゲーム機を全体として示し、このゲーム機10は本体部11と蓋部12とから構成され、蓋部12が本体部11に対して折りたたみ自在に設けられているとともに、蓋部12を閉じたとき、蓋部12が本体部11の上面を覆って全体が扁平の直方体状となるように構成されている。

【0008】そして、蓋部12の内側に表示手段としてカラーLCD13が設けられ、図1に示すように、蓋部12を開いたとき、そのLCD13の表示画面を見ることができるようになっているとともに、ここにゲームの内容などがカラー表示される。

【0009】また、本体部11の内部に、コンピュータゲーム機を構成するための各種の回路、例えば16ビット以上のCPUを有するマイクロコンピュータなどが設けられている。そして、本体部11の上面がゲームの操作面とされているもので、ここにカーソルキーなどの各種の操作キー14が配置され、これら操作キー14を通じてゲームなどを実行できるようにされている。

【0010】また、ゲーム機10には、操作部15が引き出しコード151を通じて接続されている。この操作部15も操作キー14と同様の操作キー152を有するものであるが、操作部15は、これを使用しないとき、本体部11の前面に設けられた収納部16に収納しておき、必要なときだけ取り出して操作キー152を操作できるようにされている。

【0011】さらに、図示はしないが、本体部11の内部には、CD-ROMのドライブ機構が設けられ、本体部11の前面に形成されたスロット17を通じてCD-ROM20を装着したとき、そのCD-ROM20に記録されているゲームなどのプログラムを実行できるようにされている。

【0012】また、本体部11の右側面に赤外線を送光・受光部18が設けられ、この送光・受光部18により送光および受光される赤外線を通じて他のゲーム機との間で通信が行われて対戦ゲームなどを実行できるようにされている。さらに、本体部11の右側面には、このゲーム機10の動作電源となる充電式電池を収納した電池バック19が着脱自在に装着されている。

【0013】さらに、図示はしないが、本体部11の後面にはコネクタが設けられ、このコネクタを所定のケーブルを通じてディスプレイ、例えば一般のテレビ受像機に接続すると、LCD13の表示内容を、そのテレビ受像機に表示できるようにされている。

【0014】このような構成によれば、このゲーム機はLCD13を有しているので、このゲーム機単体でゲームをすることができる。また、電池バック19によっても動作するようにしているので、商用の交流電源のないところでも使用することができるとともに、携帯して使用することができる。

3

【0015】さらに、ゲーム機10を本体部11と蓋部12とに分けるとともに、蓋部12を折りたたむことができるようにしているので、携帯して移動することができる。そして、必要なら、テレビ受像機に接続して大型の画面を見ながらゲームをすることもできる。

【0016】また、送光・受光部18を有するので、他の2台以上のゲーム機と協同して対戦ゲームなどを実行することができる。しかも、そのとき、相手機との間がコードレスとなり、コードで接続するわずらわしさが無い。

【0017】

【発明の効果】この発明によれば、表示手段を有しているので、ゲーム機単体でゲームをすることができる。また、電池バックによっても動作するようにしているの

4

で、携帯して使用することができる。さらに、蓋部12を折りたたむことができるようにしているので、携帯して移動することができる。

【図面の簡単な説明】

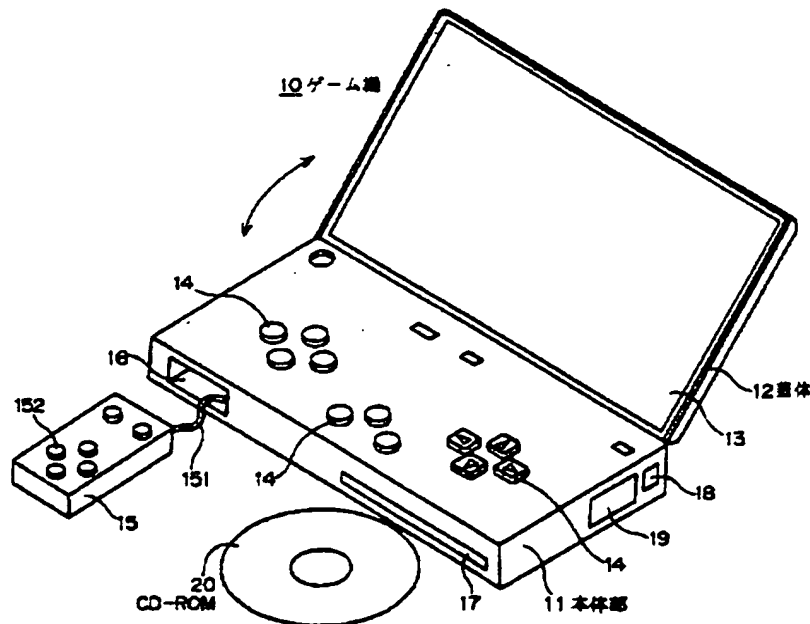
【図1】この発明の一形態の蓋部を開いた状態を示す斜視図である。

【図2】この発明の一形態の蓋部を閉じた状態を示す斜視図である。

【符号の説明】

- 10 = ゲーム機、11 = 本体部、12 = 蓋部、13 = LCD、14 = 操作キー、15 = 操作部、16 = 収納部、17 = スロット、18 = 送光・受光部、19 = 電池バック、20 = CD-ROM、152 = 操作キー

【図1】



【図2】

